

えびな環境フォーラムを開催

12月13日、市役所で「えびな環境フォーラム」を開催。環境活動の発表会やエコ工作、エコドライブ体験走行会などの催しに約500人が来場しました。



市内の若手農業者で構成する「みずほ会」(鴨志田寛会長・14人)が、12月17日、たちばな保育園(浜田町)を訪問。園児と一緒に市内産のもち米を使ったもちつきを行いました。

市内産もち米でもちつき

手作りの正月飾り

12月25日～27日、青少年会館で「児童民芸教室」を開催。わらを使った正月用のお飾り作りに、延べ約100人の小学生らが参加しました。



市では、消防車両の更新をはじめ、消防力の充実強化を図っています。一方で、被害を最小限に抑えるためには、私たち

編集後記

の日ごろの備えも大切です。火の用心や避難場所・経路の確認など、身近な消防対策に取り組みましょう。(純)



「第60回人権週間(12月4日～10日)」期間中の12月5日、海老名駅東口自由通路で、「人権啓発・街頭キャンペーン」を実施。人権擁護委員や内野市長らが、通行する方に人権の大切さを訴えました。

思いやりの心大切に

救急医療を考える講演会

12月6日、市役所で第4回市民公開シンポジウム「今、地域の救急医療を考えたよう」を開催。昨今の医療問題に関する内容の講演に、約150人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



12月6日、海老名中央公園で「えびな花と野菜のフェスティバル」を開催。来場者は、キャベツなど新鮮な地場産野菜や切り花などを買い求めました。



地場産野菜・花をPR